



介護保険制度の現状と課題 認知症患者の成年後見制度

後関賢二
(新風会)

質問 高齢者安心プランの実施に当たり介護保険料の改定を行い大幅値上げとなったが、介護保険制度の現状と今後の課題は。

答弁 高齢者人口の増加で介護給付費の上昇が避けられないことから、過不足のない介護サービスの確保、介護給付の適正化、介護保険施設の計画的な整備を図ることが必要と考える。

質問 判断能力が不十分な方を保護し支援するために成年後見認知症患者を救う手立ては。

答弁 成年後見の申し立ては親族に限られるが、市町村長に申し立て権があり、本市では平成

25年度9件、26年度4件、今年度は現在までに3件市長申し立てを行っている。今後も機動的に運用していきたい。

質問 高齢化に負けないために健康づくりに力を入れる必要がある。本市の「いきいき長寿社会憲章」を実現する取り組みは。

答弁 いきいき運動教室、ひらめきウォーキングなどの介護予防事業を実施し、高齢者の身体や精神機能の維持改善、社会との交流により閉じこもりを防止している。また、介護予防サポーターを組織化し、地域での取り組み強化を図っている。今後

も介護予防の推進に努めていく。



吉井中央公園(仮称)の進捗状況 緑の県民税での竹林整備

飯塚邦広
(新風会)

質問 吉井中央公園は、新市建設計画の重点項目にもなっているが、進捗状況は。

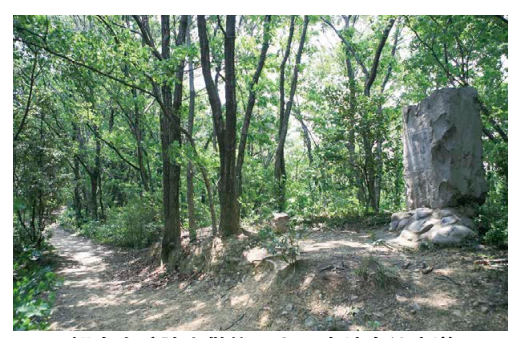
答弁 進入路は用地買収が完了しており、建物などの物件移転が終わり次第、国道254号の取りつけ部周辺の工事に着手予定である。公園は測量等が終了し、今年度から上下水道の移設

工事を行い、用地買収も今年度から2年で行いたい。

質問 地域住民では整備困難な

竹林は、次年度以降も地元や地権者との調整が整えば、基金を活用した整備は可能か。

答弁 竹林整備の原資となるぐんま緑の県民税は、平成26年度から5年間実施される。この期間に基金を有効に活用し、できるだけ多くの場所が整備できるよう、対応したい。



観音山丘陵を散策できる高崎自然歩道



スクールソーシャルワーカー 学校トイレの洋式化を

逆瀬川義久
(公明党)

答弁 8月末で吉井、群馬、榛名の各地域から1件ずつの申請があり、事業採択の準備を進めている。内容は、農業者が飲食業など地元商工業者と連携し、

質問 スクールソーシャルワーカー事業の配置体制、及び今年度の取り組み状況と成果は。

答弁 平成18年度から2名、24年度から3名配置し、27年度は1学期末までに33校で支援を行っている。また、27年度に3人

全員を拠点校型から派遣型に変更し、学校や家庭からの要請に柔軟に対応している。家庭環境に関する問題で不登校の事例では、保護者と相談機関をつない

加工や販売のノウハウを聞きながら野菜や果樹類の生産から加工、販売を進める事業計画で、6次産業化のモデルケースとなる取り組みと考えている。

質問 スクールソーシャルワーカーの研修や支援体制は。

答弁 県外や講師招聘による研修の参加や事業検討会などを実



自然歩道の整備状況 観音山のさらなる観光振興

白石隆夫
(新風会)

質問 高崎自然歩道には、上野三碑の金沢沢碑と山上碑があるため、世界記憶遺産登録など上野三碑の話題が増えるとともに自然歩道の入場者も増えると思

答弁 常に安全面に配慮した整備を進めており、平成20年度にはルートの見直しを行った。今後も下草刈りや倒木の撤去を行い、利用者が安全・安心・快適に通行できるよう整備に努めていく。

質問 榛名湖畔に大勢のスポーツ愛好者が訪れているが、公衆トイレ等の整備状況は。また、要望としてトイレの外に手洗い

施設している。また、スクールソーシャルワーカーが1人で対応することがないよう、ケース会議への参加や関係機関との連携及び情報交換にも支援している。

質問 学校トイレの洋式化の進捗状況と今後の整備の考えは。

答弁 小・中学校等の大便器数は、4774か所あり、約36%の1708か所が洋式となっている。過去に大規模改修や校舎の改築が行われた学校では洋式化の割合が比較的高い。今後も学校

の状況を見ながら適切に進めていく。

質問 観音山の良さを見直し多くのの方に訪れていただきたいが、観音山のさらなる観光振興策は。

答弁 昨年開館した山田かまち美術館やカップピア跡地に整備予定の観音山公園は多くの誘客が期待できる。観音山丘陵を一体的に捉え、点在する観光資源を効果的に組み合わせる情報発信

を行い、魅力づくりに努めたい。

福祉の専門的な知識を持ち、家庭や行政、福祉施設などの外部機関と連携しながら子どもを取り巻く環境を調整する者のこと。山名から小林山までの全長22キロメートルの自然歩道で、観音山丘陵の自然と触れ合いながら歩くことができる。

委員会審査

各常任委員会及び都市集客施設建設調査特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑・答弁の一部を掲載します。

総務教育常任委員会

質疑 自主防災組織の平成26年度の新設数と市全体の設置率は。

答弁 新規設置数は、21組織である。市全体では、265の組織が結成されており、世帯数を基にした組織率は56.2%である。

質疑 やるベンチャー事業の参加企業数は。また、どのくらいの教育効果があるのか。

答弁 26年度は延べ1,202か所の事業所が参加した。生徒がこの体験を通し、働くことの意義や勤労の尊さ、仕事の大変さを肌で感じ、自分の進路を真剣に考える良い機会となっており、教育効果は大きいと考えている。

保健福祉常任委員会

質疑 地域住民や保護者からなる運営委員会が行う本市の放課後児童クラブにおける保護者の負担軽減の取り組みは。

答弁 各クラブと相談しながら、簡単な会計ソフトの導入を検討し、年度当初の委託料を約1か月早く、運営費が不足しないよう配慮している。

質疑 犬・猫の殺処分数が他市に比べ少ないと聞くと、その方針や取り組みの内容は。

答弁 まず、むやみに動物を引き取らない姿勢で、徹底して飼い主を探している。収容となった動物については、新しい飼い主を探し、積極的に譲渡を行うことで、殺処分を少なくする努力をしている。

市民経済常任委員会

質疑 ブランド商品開発事業補助金における実績は。

答弁 5団体へ補助金を交付した。米の袋のデザイン開発やプラムの贈答用化粧箱のデザイン料、梨のシールやパンフレットのデザイン開発費が主な内容である。

質疑 中央銀座アーケードの再生を進めるために行った地権者意向調査の結果は。

答弁 再生計画案の昭和レトロな街並みの再現については、95%の方の賛成があった。再現にあたり、改築や改装を行うことについては、約半数の方から協力していただけるとの回答があった。

建設水道常任委員会

質疑 主に除雪作業を目的として購入したミニホイールローダーの活用状況は。

答弁 平成26年度は、豪雪などの災害はなかったが、碎石の積み下ろしなど日常業務に活用している。



ミニホイールローダー

質疑 八幡霊園^{はちまん}拡張整備事業の進捗状況は。

答弁 第1期工事は、2区画の舗装工事以外の道路及び擁壁工事が終了した。平成27年度は墓地の区画工事や道路舗装工事、文化財発掘調査を行い、28年度には第1期の墓所の募集を開始できるよう取り組む。

都市集客施設建設調査特別委員会

質疑 学校施設環境改善交付金の内容と対象は。

答弁 文部科学省の交付金で、義務教育施設や幼稚園、社会スポーツ施設などにおいて広く支援を受けられる補助金で、今回、新体育館について交付を受けるものである。新体育館のメインアリーナとサブアリーナ及び柔道場と剣道場が対象となる。

質疑 高崎文化芸術センター設計支援委託料とは。

答弁 高崎文化芸術センターの基本設計を行う際、設計業者からの提案を詳細に検証し、専門的な舞台技術や劇場機能について、市の意向を設計業者に適切に伝えるための専門的な技術支援をお願いしたものである。

次期定例会の予定

11月30日(月)	午後1時	開会、会期の決定、議案の提案説明など
12月1日(火)～4日(金)	午後1時	一般質問
8日(火)	午前10時／午後1時30分	総務教育常任委員会／保健福祉常任委員会
9日(火)	午前10時／午後1時30分	市民経済常任委員会／建設水道常任委員会
14日(月)	午後1時	委員長報告、提出議案等の議決、閉会

当日の受付で傍聴いただけますので、ぜひお出かけください。また、インターネットでもご覧いただけます。市議会ホームページの「議会中継」からアクセスしてご覧ください。

